

科目名	工業数理	英語科目名	Industrial Mathematics
開講年度・学期	平成 19 年度・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科 1 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	増淵 寿	居室 (もしくは所属)	機械工学科棟 2 階
電話	0285-20-2200	E-mail	masubuti@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大きな数値や小さな数値の表現法を身につけ、これらの数値を用いた基本的な計算ができる。</li> <li>2. SI 単位を理解し、単位をもった物理量の計算ができる。</li> <li>3. 回転運動を表わす方法を理解し、回転機械の基礎的な計算ができる。</li> <li>4. 工学の具体的な現象を処理するのに、数式やグラフを道具として活用できる。</li> </ol>			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1 ~ 4 : 試験での関連問題について 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
評価は下記 3 項目の加重平均によって行う。			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期試験 (70%)</li> <li>2. 演習問題や課題の解答内容 (20%)</li> <li>3. 授業の出席状況と受講姿勢 (10%)</li> </ol>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学的記数法 (3 週)</li> <li>2. SI 単位 (6 週) (後期中間試験)</li> <li>3. 回転運動 (3 週)</li> <li>4. 実験式とグラフ (3 週) (後期期末試験)</li> </ol>			
キーワード	科学的記数法、有効数字、SI 単位、回転運動、実験式、関数とグラフ		
教科書	自作のプリントを使用する。		
参考書			
<b>小山高専の教育方針 ~ との対応</b>			
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準 1 の (1) との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	中学校で学んだ数学および理科科目全般		
現学年の関連科目	基礎数学 A, B, 工作実習, 物理		
次年度以降の関連科目	工業力学		
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業方法は講義を中心とし、演習問題や課題を出して解答の提出を求めます。</li> <li>2. 授業中に配布する問題を必ず解き、正確に解答できるようにして下さい。</li> <li>3. 定期試験は時間を 60 分とし、計算機の持ち込みは可とします。</li> <li>4. 授業には、必ずポケコンを持参して下さい。</li> </ol>			
シラバス作成年月日：平成 19 年 3 月 29 日			